2019年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	研究ゼミナールB (Seminar of Study B)		
ナンバリングコード	P31702	大分類 / 難易度 科目分野	情報メディア学科 専門科目 / 応用レベル ゼミナール
単位数	2	配当学年 / 開講期	3 / 後期
必修・選択区分	必修		
授業コード	P170262	クラス名	小島研究室
担当教員名	小島　康史		
履修上の注意、履修条件	それぞれが映像制作の手法を深めていく授業です。表現に関連するさまざまな授業をすでに履修していることが必要です。 グループで制作する作品が中心なので、欠席 をしてグループのメンバーに迷惑をかけることのないようにしてください。新聞は日頃から目を通しておくこと。		
教科書	特に指定しない。		
参考文献及び指定図書			
関連科目			

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	①映像制作の手法を探る。 ②社会への関心を深め、表現することの意味を確かめる。			5点
【知識・理解】	①映像制作の手法を探る。 ②映像で訴えるための表現力を探る。		50点	
【技能・表現・コミュニケーション】	①映像で訴えるための表現力を高める。		40点	
【思考・判断・創造】	①企画意図を実現できる(想定した対象に、伝えるべき情報を伝えることができる)。			5点

○到達目標に対する到達度の目安、および、成績評価の補足

[Sレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。[Aレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。[Bレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。[Cレベル]単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。

○授業の目的・概要等		
授業の目的	企画、調査、取材、構成、撮影、編集にいたる映像のサイクルを作品を通じて円滑に制作することができる。	
授業の概要	大分合同新聞社と連携して、ゲートチャンネル内の『地域の芽、学生の目 NBUビデオ通信』にて、月に一度の動画ニュースを作成し、配信を行う。併せて、担当者は大分合同新聞の夕刊にて記事の執筆も行う。企画は前もって案を出し合い協議をした後、大分合同新聞にプレゼンテーションを行って決定される。作品時間は2分から3分程度とし、携帯画面からでも見やすい絵作りが求められる。作品の完成後はスタッフ全員で視聴し、質疑応答及び講評を行う。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「共同担当方式」
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目		
実務経験のある教員による授業科目		

○備考欄

期末試験・レポート等の学修成果課題のフィードバック方法は、教員のコメントを添えて返却します。

2019年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画　科 目 名 : 研究ゼミナールB（Seminar of Study B ）　授業コード:P170262
担当教員: 小島　康史

学修内容

1. 作品企画
動画ニュース・映像作品の企画を考える。グループディスカッションにて企画を絞り込む。

予習: 今までの動画ニュースについて調べる　（約2.0h）
復習: ゼミで議論した点を踏まえて追加調査を行う。　（約2.0h）

2. 取材活動
動画ニュース・映像作品について取材を行う。取材範囲について追加調査を行う。

予習: アポ取りを行い、質問事項を考える　（約2.0h）
復習: 取材し内容について文字起こしを行う。　（約2.0h）

3. 取材報告
取材内容の読み込みと、撮影方針の決定。ラフな構成案を思考する。

予習: 文字起こしの内容を読んで、使いどころに印をする。　（約2.0h）
復習: 議論した点を踏まえてテーマについて検討する。　（約2.0h）

4. 撮影準備
映像作品のテーマの確認。テスト撮影を行う。

予習: 撮影スケジュールの制作。　（約2.0h）
復習: 撮影内容の確認と進行の段取り。　（約2.0h）

5. 撮影
動画ニュース・映像作品の撮影を行う。

予習: 撮影機材の点検。　（約2.0h）
復習: 収録済みカードの映像取り込み。　（約2.0h）

6. 編集
ラフなPC編集を行う。テロップ原稿の作成。テーマの最終決定。

予習: 文字起こしを行う。　（約2.0h）
復習: 効果音と音楽の入れところについて検討する。　（約2.0h）

7. 仕上げ
PC編集にてテロップ入れを行う。音楽と効果音を貼り付ける。作品の完成。作品に関してミーティングを行う。

予習: 音学と効果音の音源を確保する。　（約2.0h）
復習: 作品の総括をレポートにしてまとめる。　（約2.0h）

8. リクルートビデオ作品の調査
取材対象会社のセールスポイントを考察する。

予習: 過去のリクルートビデオ作品につてい調べる。　（約2.0h）
復習: 取材対象の会社や業界について調べる。　（約2.0h）

○授業計画　科 目 名 : 研究ゼミナールB（Seminar of Study B ）　授業コード:P170262
担当教員: 小島　康史

学修内容

9. 取材活動
リクルートビデオ・映像作品について取材を行う。取材範囲について追加調査を行う。

予習: アポ取りを行い、質問事項を考える。　（約2.0h）
復習: 取材し内容について文字起こしを行う。　（約2.0h）

10. 取材報告
取材内容の読み込みと、撮影方針の決定。ラフな構成案を思考する。

予習: 文字起こしの内容を読んで、使いどころに印をする。　（約2.0h）
復習: 議論した点を踏まえてテーマについて検討する。　（約2.0h）

11. 構成案のプレゼンテーション
取材対象の会社にて、どのような映像を制作したいのかプレゼンテーションを行う。クライアントの意向を伺う。

予習: 構成案を作成する。　（約2.0h）
復習: クライアントの意向を含めた修正構成案を作成する。　（約2.0h）

12. 撮影1
構成案に即した撮影取材を行う。

予習: 撮影機材の点検。撮影スケジュールの制作。　（約2.0h）
復習: 撮影内容の確認と進行の段取り。　（約2.0h）

13. 撮影2
テーマに即した撮影取材を行う。

予習: 撮影機材の点検。撮影スケジュールの制作。　（約2.0h）
復習: 収録済みカードの映像取り込み。　（約2.0h）

14. 編集
ラフなPC編集を行う。テロップ原稿の作成。テーマの最終決定。映像作品の実制作を行います。作品内容に関して、教員とのミーティングを行う。

予習: 文字起こしを行う。　（約2.0h）
復習: 効果音と音楽の入れところについて検討する。　（約2.0h）

15. 仕上げ
PC編集にてテロップ入れを行う。音楽と効果音を貼り付ける。作品の完成。作品内容に関して、教員とのミーティングを行う。

予習: 音学と効果音の音源を確保する。　（約2.0h）
復習: カラコレ作業を行う。　（約2.0h）

16. 作品の発表
制作した映像作品の鑑賞し、グループディスカッションを行う。教員からの講評を行う。

予習: 最終構成台本を制作する
復習: 作品の総括をレポートにしてまとめる。